



# 上野南部 自治協だより

令和5年3月15日 第69号  
発行 上野南部地区  
住民自治協議会  
編集 広報部会  
<http://ueno-nanbu.com>



## 教育文化部会



～ハンドベル演奏と民話劇～  
詳しくは、QRを見てね！

2月12日(日)午後1時30分から、ハンドベルの音色と民話劇で伝えたい・・・  
「支え合うことの大切さ」を伝えるため、ボランティアグループ「IDA 彩」の皆さんによる  
ハンドベル演奏と民話劇「へび女房」「泣き虫小太郎」を上演しました。コロナ対策の為、  
人数制限し22名の参加者でした。

### ハンドベル演奏のプログラム

- ①大きな古時計 ②ふるさと
- ③いのちの歌 ④さんぽ
- ⑤浜辺のうた ⑥糸



参加者も、ハンドベルで「きらきら星」を演奏しました。



### 猪田地区に伝わる民話

「へび女房」は、大東地区に伝わる民話  
「泣き虫小太郎」は、猪田神社にまつわる民話

## 上野南部地区の民生委員児童委員、主任児童委員の紹介

担当地区	氏名	担当地区	氏名
愛宕町	浅井 佐代子	西忍町	北澤 重信
	岸田 諭		布生 恵美
	前川 有	東・西日南町	百代 順孝
池町	選考中	東忍町	百治 八重子
恵美須町	岩木 恵子	鉄砲町	飯澤 久一
茅町	馬場 真里	万町	竹内 聡子
桑町	小田 吉昭	主任児童委員 (上野西小・上野東小校区)	前川 加世子 米田 美紀子
	清原 安史		
	長愛 廣康		
	前沢 和子		

(敬称略)



何かお困りのことがありましたら、担当の民生委員児童委員までお気軽にご相談ください。

▶▶▶ 裏面に「上野南部地区の歴史と文化」寺院編・「編集後記」を掲載しています

## 『上野南部地区の歴史と文化』寺院編より

### しんねんじ 心念寺

- ・護霊山心念寺
- ・浄土宗
- ・御本尊・阿弥陀如来

**由来** 元和元（1615）年、上野寺町にある  
仏生山大超寺（※）の前身である大善  
寺を開山した暁誉上人の弟子の珍譽上  
人が開基したと伝えられています

#### ※大超寺について

藤堂高虎が慶長 13（1608）年に伊賀入りした際、  
関ヶ原の戦いで命を落とした叔父の藤堂玄蕃の菩提  
を弔うため、暁誉上人に命じて大善寺を開山。その後、  
暁誉上人は住職を光誉上人に託し、隣に超誓寺を建て  
隠居。

明治 8（1875）年両寺が合併し大善超誓寺となり、  
明治 22（1889）年に大超寺と改名されました。



#### 樹齢300年と言われるしだれ桜が有名

松尾芭蕉の門弟で、心念寺の住職だった  
杉野配力にちなんで「配力桜」と呼ばれて  
います。

毎年、3月下旬から4月上旬頃、ソメイ  
ヨシノより一足早く開花します。満開の  
頃、境内をしだれ桜が覆う様は見事です。

伊賀市上野西日南町 1755

## お知らせ

4月1日から、上野南部地区住民自治協議会では、指定管理制度を導入し、上野南部地区市民センターの運営・維持管理を当住民自治協議会で行う事になります。簡単に言えば、伊賀市に代わって当住民自治協議会が上野南部地区市民センターの運営・維持管理を行うと言う事です。この制度を導入しても利用料金が発生することもなく、これまで同様に上野南部地区市民センターをご利用いただけます。

## 編集後記 1年間お届けした自治協だよりの広報部員を紹介します

上田部長：新年度も発信、報告、頑張りますよろしくお願い致します。

藤田副部長：楽しかったよ。新規部会員もどしどし参加してほしいです～。

宮田事務担当：掲載のQRコードで、HPとの連動をしています。最新情報をお届けいたします。

浅井：南部の広報誌はチームワークの良い部会員だから作れます。

大谷：回覧でみていただいている自治協だより、全戸配布も検討します。

木宮：今年度は「上野南部地区の歴史と文化」の冊子から寺院編を取りあげました。ぜひ訪れてみてください。

栗本：地域のホットな情報の発信を部員と共に。

田中：部会員の皆様と共に地域の情報を伝えて行きます。よろしくお願い致します。

森田：春本番、マスク解禁、花粉注意、記事募集。

米田：楽しくて心がふわっとあったくなる記事がいっぱいの上野南部自治協だよりに！